

令和5年度 事業報告書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

1 事業の成果

なでしこ共同作業所は例年と変わりのない運営ができました。

利用者の最年長は79歳、最年少は54歳です。中には自分の体力に合わせて通所の頻度を落とした方もおられます。相談の内容も障害の症状や特性についてよりも、高齢化による健康問題が増えてきましたが、自宅では自分で家事を行い、日中は作業所で過ごし、一日一日を重ねています。

障害者生活支援センターこら～れの指定管理業務については、相談件数は全体的に減少していますが、関わり人数は増加しています。一人一人の悩みや困り感と向き合い、医療・教育・福祉・行政など、多機関と連携しながら支援を継続しています。

また、岡山市障害者自立支援協議会の地域部会・専門部会へ参加し、岡山市全体の障害者等への支援体制が充実するよう協議しています。

地域交流事業では、昨年に引き続き「福あつめプロジェクト」を実施し、137枚の「ちよっと良いことカード」が集まりました。

中学生を対象とした「たけべ部」「たけべ中学生だっぴ」については、地域の個人・団体から参加協力や寄付をいただき実施することができました。

令和5年度から法人の活動計画に含めた「メンタルボランティアさくらの会」は、高齢化によりメンバーが減少していますが、ボランティア自身の負担にならないペースを確認しながらの実施となっています。

2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～ 15:00	なでしこ共同作業 所	指導員 5 人、ボ ランティア 10 人、家族会 1 人	障害当事者、関 係者/約 100 人	5,549
2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
特定相談支援事業所の運営	実施なし				
3) 公の施設の運営・管理に関する受託事業					
障害者生活支援センター こら～れの運営	月～金 9:00～17:00	障害者生活支援セ ンター	職員 4 人、ボラ ンティア 10 人	障害当事者、関 係者/約 350 人	16,777
4) 障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」 の発行	年 1 回	なでしこ共同作業 所	職員 1 人	会員・関係者/ 約 120 人	2
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業 所	職員 1 人	不特定多数	
5) 地域交流に関する事業					
福あつめプロジェクト	建部町文化祭 11/11・12	建部町文化センタ ー	職員 4 人	地域住民 137 名	21
たけべのちっちゃな パソコン教室	年 12 回	建部町公民館	職員 1 人	地域住民 延べ 12 人	
たけべ中学生だっぴ	11/29	建部中学校	大人・実行委員 22 人/大学生 9 人	中学生 25 人	
たけべ部	全 7 回	建部町文化センタ ー/たけべ八幡温泉	実行委員 5 人	中学生延べ 49 人	
メンタルボランティアさく らの会活動	通年	なでしこ共同作業 所/障害者生活支援 センター	ボランティア 10 人	障害当事者 30 人	

3 実績報告

1) なでしこ共同作業所の運営

① 利用状況について

		令和4年度	令和5年度
開所日数		240日	240日
登録者数		10人	9人
利用延べ人数		1,882人	1,829人
一日平均利用人数		7.84人	7.62人
平均年齢		65才	66才
平均工賃	内職賃金	34,109円	39,378円
	賞与	20,465円	16,539円
	合計	54,574円	55,917円

② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	アルテミラ・テクノソリューションズ株式会社
ペットボトル回収リサイクル処理作業	株式会社カロスアウラ
資源回収団体報奨金	岡山市
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
ブルーベリーの収穫販売	入野農園
ニンジンの袋詰め作業	岡本農園
手芸品・さをり織りの製作と販売	たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売 はっぼね桜祭り たけべマルシェ

③ 作業以外の行事等について

- ・ 大掃除&忘年会

④ 支援について

- ・ メンタルボランティアさくらの会による支援：延べ156人
- ・ なでしこ家族会による支援：延べ10人

2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

実施なし

3) 障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

① 施設の運営・利用状況

内 容	R4 年度	R5 年度
登録者数	17 人	17 人
関わり人数 (実)	64 人	76 人
開館日数	243 日	243 日
利用人数 (延)	2,250 人	2,069 人
1 日平均利用者数	10.3 人	8.5 人
風呂の利用許可及び利用料の収納	5 回 (実 1 人)	17 回 (実 2 人)

② 建物管理について

● 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
1・2 階誘導灯バッテリー	経年劣化	交換設置
館内の一部の照明器具取替修繕	岡山市の修繕事業による	岡山市の費用負担で実施

● 避難訓練 (令和 6 年 3 月 2 8 日)

③ 相談の状況 (件)

内容	R4年度	R5年度	内容	R4年度	R5年度
訪問	352	352	メール	8	5
来所相談	610	460	個別支援会議	25	36
同行	100	82	関係機関	708	464
電話・FAX	765	671	時間外対応	18	21

④ 相談内容 (件)

内容	R4年度	R5年度	内容	R4年度	R5年度
福祉サービス	572	353	年金・手当・生活保護	66	52
障害・症状	178	157	金銭・生活	830	718
健康・医療	561	511	就労	87	94
不安解消	838	470	社会参加・余暇	268	217
保育・教育	14	1	権利擁護	117	71
家族・人間関係	343	241	その他	0	0

⑤ 基礎的事業（述べ参加人数）

利用者活動	R4 年度	R5 年度
ボランティア活動（月2回）	—	—
ミニ交流会（月1回）	61	49
お楽しみ会（月1回）	52	70
食事作り（月2回）	—	—
ミニ作業（回覧板）	59	51
オープンキッチン（自炊練習）	4	0
ボードゲーム等	0	0
カラオケ	17	25
合同クッキング（年2回）	—	—
大掃除・忘年会	6	9

⑥ ボランティアの養成及び育成・組織育成（件）

内 容	R4 年度	R5 年度
家族サロン	0	0
家族会支援	4	3
ボランティア団体支援	6	3
教育機関との連携	2	2
サービス向上のための研修等	23	18
広報・啓発	18	5
地域交流に関わる取組	29	26
協議会・運営会議等	48	56
吉備中央町関係	9	7
人材育成	0	0
他事業所への指導等	5	3

4) 障害保健福祉に関する啓発事業

① 法人会員数（人）

種 別	R4 年度	R5 年度
正会員	27	20
賛助会員	51	44
合計	78	64

② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
41	令和5年9月23日	総会報告

5) 地域交流に関する事業

福あつめプロジェクト

■日 時	建部町文化祭（11月11日・12日）
■内 容	地域住民、介護・福祉サービス利用者にカードを配り「最近あった良いこと（福）」を記入してもらい、建部町文化祭で展示した。
■結 果	建部町地域包括連携会議を中心に参加を募り、準備段階で104枚、当日参加は33枚のカードが集まり、合計137枚を展示した。前年に比べると参加数は減少したが、当日の子どもの参加が多く、賑わいにつながった。

たけべのちっちゃなパソコン教室

■実 施	12回
■参加人数	12人（実5人）
■内 容	Microsoft Word・Excel、パソコン設定
■目 的	地域活動団体の事務担当者のパソコン操作を支援する。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないと言った課題を解決する。
■成 果	地域活動における事務作業の滞りについての相談が多く、一緒に作業することで解決することができた。

たけべ中学生だっぴ

■実行委員会	5回（建部町文化センター等で実施）
■月 日	令和5年11月29日（水）
■場 所	建部中学校 体育館
■参加人数	建部中学校2年生…25人 大学生…9人 大人・実行委員会…22人
■目 的	中学生に対し、多様な価値観をもつ大人と交流する機会を提供する。
■成 果	中学生からは「普段、同級生と話す時には話さないようなトークテーマを話せて面白かった」「大人はおもしろい」といった感想が寄せられた。町内の企業・個人から寄付やプログラム参加の協力をいただき、地域の力で開催することができている。

たけべ部

■実施回数	7回
■場 所	建部町文化センター、建部中学校
■参加人数	建部中学生 延べ 28 人（全学年対象）
■目 的 内 容	中学生が今の自分自身や未来の自分、未来の地域について考え、行動できる場を目指す。 たけべマルシェに「たけ中 Kitchen」として中学生が考案した麻婆丼と綿あめを販売した。
■成 果	メニュー、レシピなど中学生が主体となって考案し、アイデアを実現していく過程を体験した。出店の中で高齢者が多い地域性なのでハーフサイズを設定すれば良かったなど学びを得た参加生徒もいた。売上の一部を建部町花火大会へ寄付し、地域の一員としての意識が芽生えた。

メンタルボランティアさくらの会

■登録者	9 人（R6年3月31日時点）
■活 動	なでしこ共同作業所での作業支援 述べ：156 人（一日平均：0.65 人） ミニ交流会への参加 述べ：11 人
■成 果	独立した任意団体での活動が高齢化により継続困難となり、令和5年度から当法人の事業の一部として継続していくことになった。メンバーの活動継続の意向を確認する年となり、3名が引退された。
■課 題	長年に渡り支援してくださったボランティアメンバーが引退後も利用者と地域で気兼ねなく交流できるよう丁寧な意向確認をしていく必要がある。